

文教委員会報告資料

令和3年7月2日

報告事項件名	頁
(教育指導部)	
(1) 令和2年度区立小中学校ICT機器活用に関する効果検証結果(概略)について	2
(2) 令和2年度いじめ認知・解消の状況について……………	5
(3) 「小学校第1学年に関するアンケート」実施結果について……………	6
(学校運営部)	
(4) 放課後子ども教室の令和2年度実施状況と令和3年度の方針について……………	10
(5) 施設使用日の変更に係る規定の整備に伴う条例施行規則の一部改正について	12
(6) 新田学園における活動環境整備の進捗状況について……………	15
(7) 登下校等通知メールの利用率について……………	16
(8) 令和2年度おいしい給食推進事業の実施結果及び令和3年度事業計画について	19
(子ども家庭部)	
(9) 令和2年度の不登校児童・生徒数について……………	24
(10) 令和2年度のスクールソーシャルワーカー(SSW)活動実績について……………	28

(教 育 委 員 会)

文 教 委 員 会 報 告 資 料

令和3年7月2日

件 名	令和2年度区立小中学校ICT機器活用に関する効果検証結果（概略）について
所管部課名	教育指導部教育政策課
内 容	<p>ICT教育基本方針に掲げている指標を中心に、小中学校ICT機器活用に関して効果検証結果について報告する。</p> <p>1 効果検証について</p> <p>(1) 実施時期について：令和3年1月18日から同2月17日</p> <p>(2) 対象：小・中学校で1人1台端末を付与されている教員全員 (有効回答者数：1,956名＝小1,277名、中679名)</p> <p>(3) 方法：Web回答方式によるアンケート調査</p> <p>2 検証結果（概略）と分析（※ 結果はP4の令和2年度 活動指標結果を参照）</p> <p>(1) 教員用タブレット端末等を使用して授業を実施した教員の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校・中学校共に目標を超えている。 ・ 前年度よりも教員の活用頻度が増加し、定着しつつある。 <p>(2) 児童・生徒用タブレット端末を活用して授業を実施した教員の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前年度より活用する教員は増加したが、目標を大きく下回った。 ・ 新型コロナウイルス感染症対策として、「物（タブレット）の共有を避けた」「グループワーク等の協働作業を避けた」「休校、分散登校により、知識を伝えるのが精一杯であった」等の声が多く聞かれ、今回の大きな要因であると推察 <p>(3) プログラミング教育の実施回数（タブレット端末使用・教員の割合）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校・中学校共に目標を超えている。 ・ 中学校では「技術」の時間があり、数値が高い。 <p>(4) 教員研修受講状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標を達成した。 ・ 教員用タブレットの活用割合の増加や不安意識の減少に貢献 <p>(5) その他のアンケート調査から見えたもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度と比較をすると小、中学校ともにほぼすべての項目において改善が見られた。 ・ ICT機器（デジタル）と従来の教具（アナログ）を効果的に組み合わせた授業ができないと感じる割合は、小、中学校ともに約

- 25%であり、昨年より小学校は約5%、中学校は約10%減少。
- ・ 教員用タブレット端末のデジタル教科書をすべての授業で3割以上活用した割合は、小学校は約90%、中学校は約60%であり、昨年より小学校は約10%、中学校は約15%増加した。

3 課題と今後の方針

- (1) 教員用タブレットの活用は、その頻度の増加や定着の傾向が見られるが、今後は児童・生徒の一人一台の端末の環境を十分に生かす端末活用力、授業スタイルの確立が不可欠である。
- (2) 今回の検証では、児童・生徒用タブレット端末を活用して授業を実施した教員の割合の低さが課題として浮かび上がった。
各校40台のタブレットを調整しながら利用するといった使いづらさや、感染症対策や学習進度の余裕不足があったにせよ、教員の活用意欲やスキル不足は否めない。
児童・生徒が一人一台の端末を活用できる環境を最大限に生かし、わかる授業・魅力ある授業、個に応じた指導の実現させていくことが課題である。
- (3) 今年度は、教員用端末の活用「量」をさらに増やすと共に、わかる授業を実現するための活用の「質」の向上をめざした研修やICT支援員からの支援に取り組んでいく。

(参考)

ア 教員向け研修

- ・ 【初級】1年次、異動者向け基本操作研修、デジタル教科書研修、モデル校Google研修会(Googleアプリ基本操作)、
- ・ 【中・上級】Googleアドバンス研修会(Googleアプリケーションを複数活用した授業等)
- ・ 【超初級】Googleサポート研修会(学校のニーズに応じて指導主事を派遣。基本操作等の研修を実施。)

イ 先行実践授業公開・管理職向け研修

ウ ICT支援員による各校での研修や技術支援

エ その他の支援体制

- ・ 指導主事による学校訪問支援
- ・ 「足立区教育ICTガイド」や「あだち学校ICTスターターガイド」等で好事例の共有やセルフトレーニングの支援

今後の方針

令和2年度 活動指標結果

活動指標		目標		令和2年度結果	令和元年度結果
1	教員用タブレット端末等を使用して授業を実施した教員の割合	小学校	80%以上(週3回以上)	85.4%	70.4%
		中学校	80%以上(週 国・数・英:2回、社・理:1回以上)	82.1%	67.6%
2	児童・生徒用タブレット端末を活用して授業を実施した教員の割合	小学校	80%以上(月1回以上)	41.0%	33.4%
		中学校	50%以上(国・英・社:3回、数・理:5回)	16.9%	12.5%
※【児童・生徒用タブレット端末の活用が指標を下回った要因】 新型コロナウイルス感染症対策として、「物の共有を避けた」「グループワーク等の協働作業を避けた」などの理由が挙げられている。					
3	プログラミング教育の実施回数 (タブレット端末使用・教員の割合)	小学校 (4、5、6年担任)	80%以上(半期に1回以上)	80.7%	調査無
		中学校 (技術)	80%以上(半期に1回以上)	94.3%	調査無
4	教員研修受講状況	管理職 リーダー	100%(2年間で区主催研修を1回以上受講)	100.0%	100.0%
		教員	100%(年1回以上、校内研修等を実施)	100.0%	100.0%

文教委員会報告資料

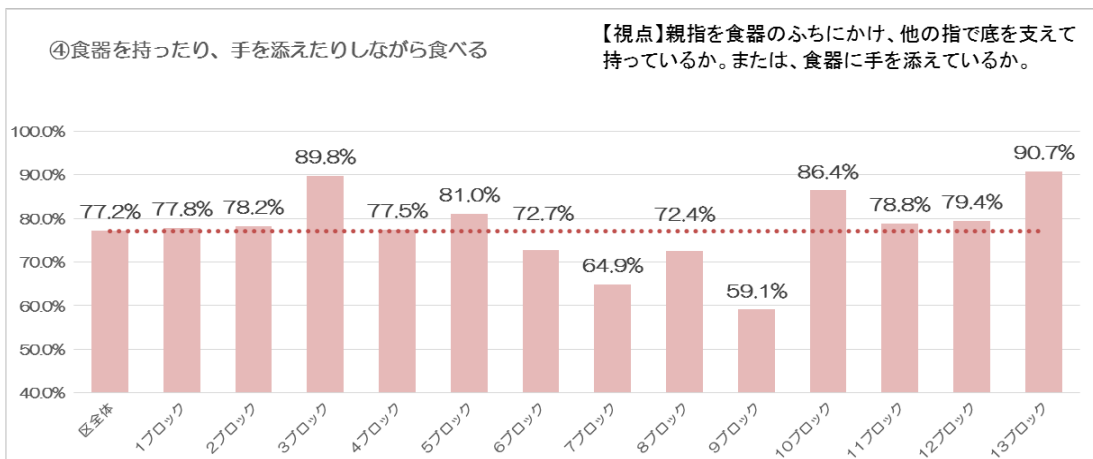
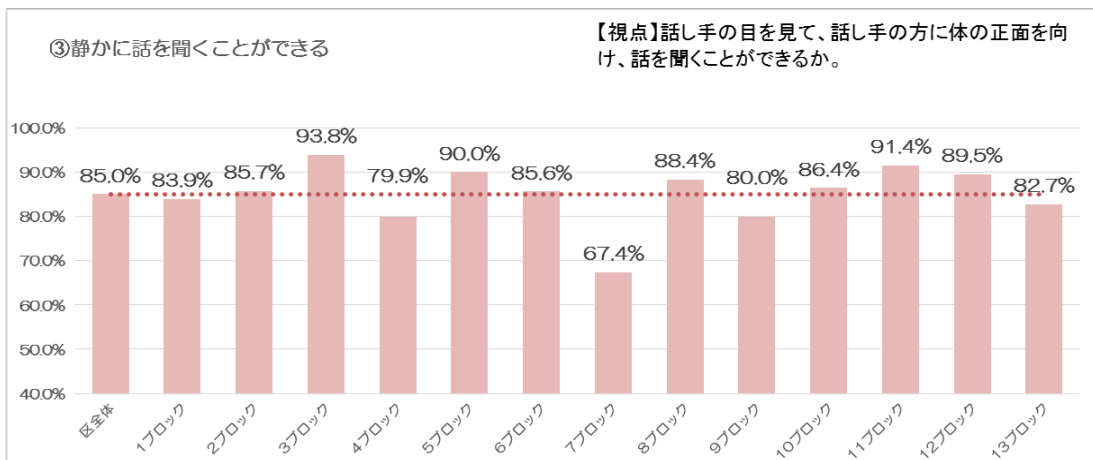
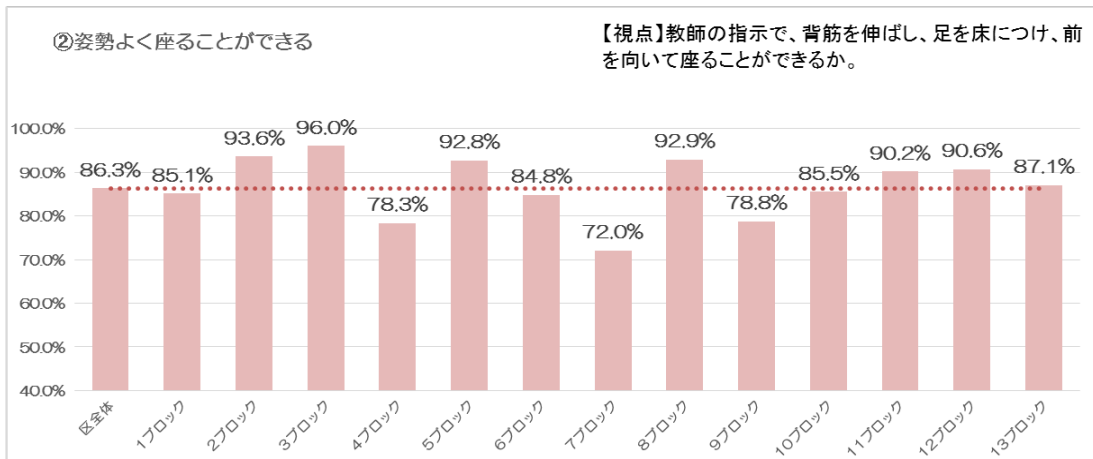
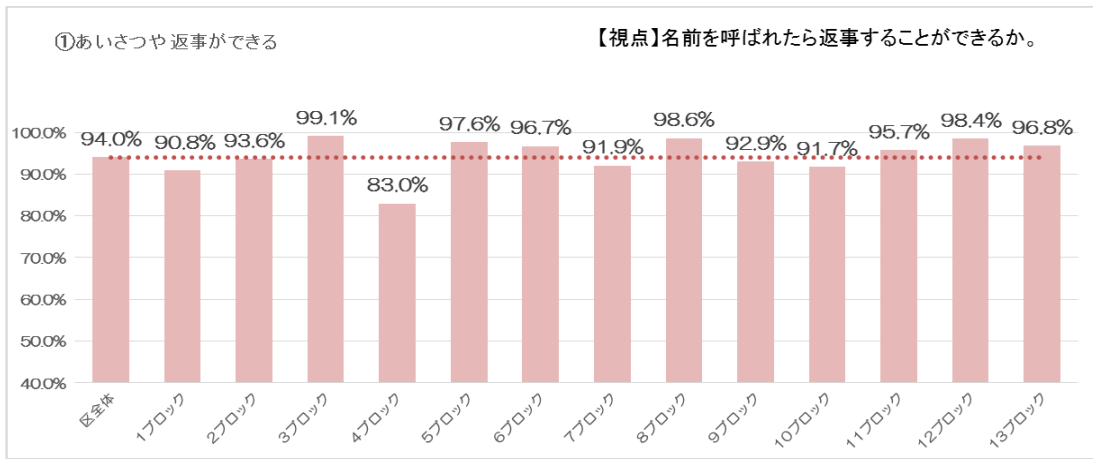
令和3年7月2日

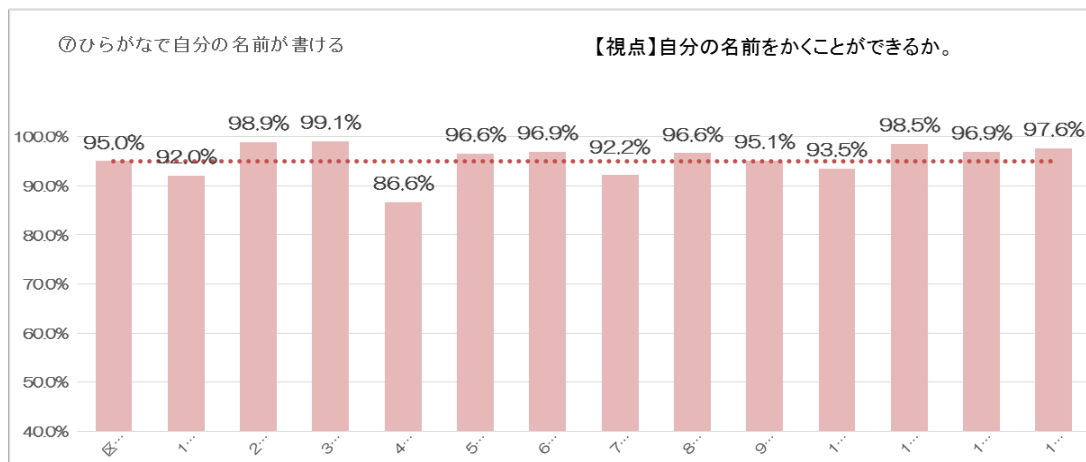
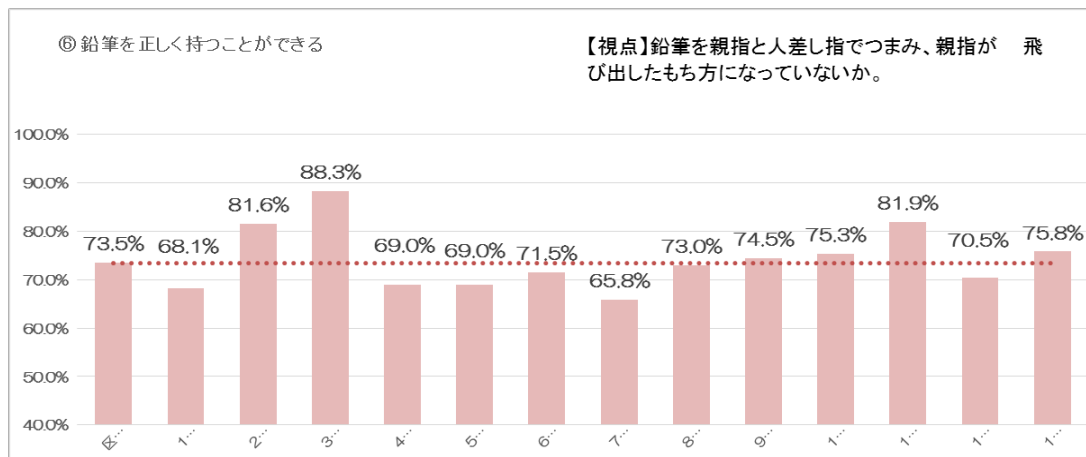
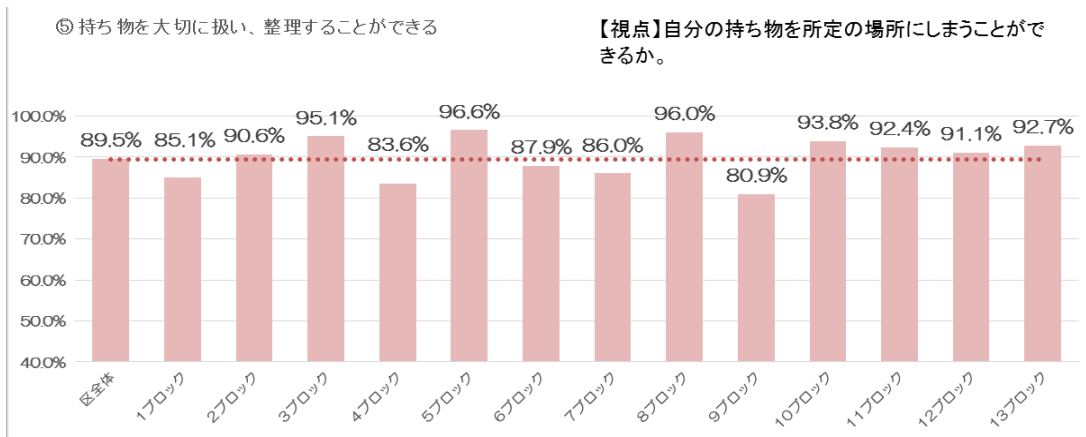
件名	令和2年度いじめ認知・解消の状況について
所管部課名	教育指導部教育指導課
内 容	<p>1 令和2年度いじめ認知件数</p> <p>(1) 新規認知件数 <u>5,729件</u> (対前年度比 -3,169件) ・ 年度当初の臨時休業(4月、5月)に伴う授業日数の減少 ・ 新型コロナウイルス感染症に関連した偏見や差別を生まない指導の周知徹底</p> <p>(2) 前年度未解消件数(令和元年度から令和2年度への繰り越し) <u>2,160件</u> (前年度比 -577件) ※ 3か月間の経過観察中事案を含む</p> <p>2 いじめ解消状況</p> <p>(1) 解消件数(3か月間の経過観察事案を除く) <u>6,077件</u> (前年度比 -3,398件)</p> <p>(2) 解消率=解消件数÷(新規認知件数+前年度未解消件数)×100 <u>77.0%</u> (前年度比 -4.4ポイント) ・ 年度当初の臨時休業に伴う学校生活の短縮 ・ 新しい生活様式に伴う友人関係の距離感</p>
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ いじめはどの学校でもどの子どもにも起こり得るという認識のもと、教職員が細心の注意を払いながら、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努めていく。 ・ 今後も、新型コロナウイルス感染症に関連する偏見や差別を生まない指導を継続するとともに、地域、保護者にも啓発する。

文教委員会報告資料

令和3年7月2日

件名	「小学校第1学年に関するアンケート」実施結果について
所管部課名	教育指導部就学前教育推進課
内容	<p>1 対象 区立小学校1年生（全69校 児童数約4,957人） 担任教諭による見取りにより実施</p> <p>2 実施時期 令和3年4月（入学後から約2週間）</p> <p>3 結果概要（詳細はP7～8参照） (1) 従来と同内容の調査項目 ※（ ）は元年度の結果 ア あいさつや返事ができる 94.0%（96.7%） イ 姿勢良く座ることができる 86.3%（88.2%） ウ 静かに話を聞くことができる 85.0%（87.1%） エ 鉛筆を正しく持つことができる 73.5%（76.1%） オ ひらがなで自分の名前が書ける 95.0%（96.0%） (2) 今回から内容を変更した調査項目 カ 食器を持ったり手を添えたりしながら食べる 77.2% （「給食を時間内に食べている」からの変更） キ 持ち物を大切に扱い、整理することができる 89.5% （「学習道具を机の上に揃えることができる」からの変更） 【参考】 P7～8 小学校第1学年に関するアンケート結果（ブロック別） P9 幼保小連携ブロック別一覧</p> <p>4 分析 (1) 新型コロナウイルス感染症に伴い、休園や園行事の縮小や中止、遊びや行動の制限、外出の自粛等を余儀なくされ子どもたちの経験の量が例年より減少したことや、飛沫感染・接触感染を防止するための配慮を重視したことが、結果が低下した要因と思われる。 (2) 連携校・園の多くで、工夫を重ねながら幼保小連携活動が継続されるなど、接続期カリキュラムに基づく小学校への接続を意識した保育の広がりにより、結果の低下を一定程度食い止められたと考える。</p>
問題点 今後の方針	各ブロックにアンケート結果をフィードバックし、保育や連携活動のさらなる改善を促していく。





幼保小連携ブロック別一覧

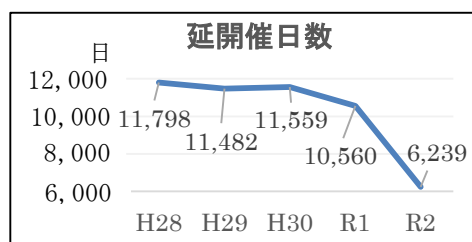
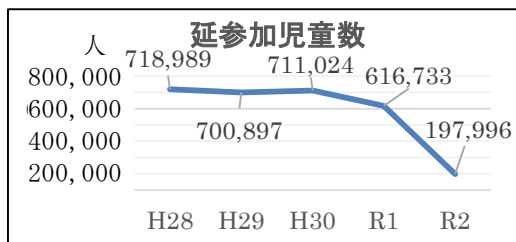
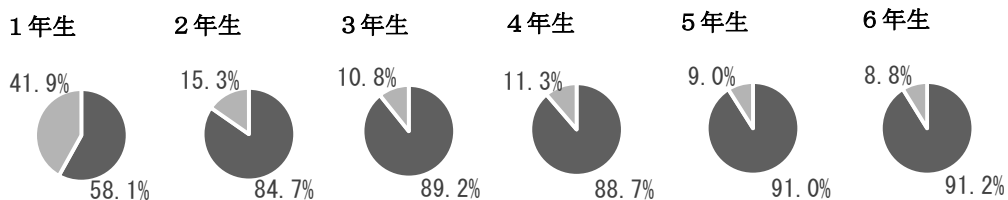
ブロック	小学校	幼稚園・こども園	保育園（認証含）
1	千寿 千寿本町 千寿双葉 千寿常東 千寿桜 千寿第八	元宿 足立 聖和 中条 千住寿	千住あずま 緑町 日ノ出町 千住 せきや Jキッズルミネ北千住 クレアナーサリー千住大橋 たんぼぼ保育所北千住園 ういず千住大橋駅前 ういず千住曙町 あい保育園千住大橋 北千住こども園 ぼけっとランド千住曙町 北千住もみじの森 北千住どろんこ まなびの森保育園千住大橋 アスク千住 キッズガーデン足立柳原 帝京科学大学千住桜木 北千住太陽 ステラ千住ふたば まなびの森保育園関屋
2	江北 高野 扇 宮城	足立サレジオ 東京白百合 江北さくら	上沼田 宮城 さつき あい・あい保育園高野園 江北 三星 大空と大地のなーさりい扇大橋園 にじいろ保育園江北 江北すきっぷ 足立しらゆり
3	興本 西新井第一 西新井 本木 寺地	足立愛育 足立双葉 興南 西新井 黒田 第一若草	本木 本木東 興本 興野 西新井教会 西新井聖華 いづみ 扇こころ チェリッシュ西新井 キッズガーデン足立扇 アスク扇 キッズガーデン足立興野 愛恵保育園にしあらい
4	亀田 栗原 関原 梅島 島根 梅島第一 梅島第二	梅島 こだま 満願寺 橋 専念寺 八千代	梅田 中部ひまわり 足立ひまわり 島根 栗原つくし うめだ「子供の家」 親隣館 島根いちい 西新井きらきら 西新井きらきら第二 エーワン梅島 ちぐさ バンビ保育園梅島園 日生梅島保育園ひびき 日生梅島第二保育園ひびき にじいろ保育園梅島 たんぼぼ保育所西新井南園 ちゃいれっく西新井駅前 キッズガーデン足立島根
5	弥生 足立 弘道 弘道第一	弘道 五反野 春光 城北 のぞみ	中央本町 五反野 やよい 高和 西綾瀬りりおっこ 子ひばり 聖華こうどう 足立梅島雲母 足立さくらんぼ トレジャーキッズあやせ ぱる★キッズ足立 キッズガーデン足立青井
6	長門 綾瀬 東加平 東湊江 北三谷 大谷田 東綾瀬	足立白うめ 親愛 チェリー 美松学園 聖フランシスコ	あやせ 東綾瀬 足立若葉 隅田学園 にじいろ保育園綾瀬 東 チェリー 東部若葉 聖母のさゆり 東綾瀬きらきら 東和 コンビプラザ綾瀬 キッズガーデン足立綾瀬 どんぐり保育園東和 チェリッシュ綾瀬 恵・YOU ぼけっとランド綾瀬 ビーフエ東和親水 北綾瀬聖華 あやせババール園 ソラストあだち東和
7	中川東 辰沼 中川 中川北 六木	おおやた 東京いづみ 黒川 六木	大谷田第一 辰沼 六木 神明町 きたあやせこころ ナーサリースクールいづみ大谷田 チェリッシュやなか チェリッシュ北綾瀬 あい・あい保育園北綾瀬園 未来っ子保育園北加平町園 足立北綾瀬雲母
8	青井 栗島 平野 加平 東栗原	あおい 足立つくし 栗島	東栗原 平野 青井 たんぼぼ保育所六町園 クレアナーサリー足立さくら園 六町駅前 野のはな たんぼぼ保育所第二六町園 明日葉保育園青井園 あい・あい保育園綾瀬六丁目園 明日葉保育園保塚園
9	花畑第一 花畑西 花畑 桜花 花保	杉の子 石鍋 花畑八千代	花畑桑袋 東花畑 南保木間 六町あづま 愛隣 東保木間 レイモンド花畑 六町
10	竹の塚 中島根 湊江 湊江第一 西保木間 保木間	小倉 竹塚 ふちえ	北保木間 竹の塚北 中島根 西保木間 水神橋 竹の塚 保木間 湊江 ちゃいれっく竹ノ塚駅前 保育園ミルキーウェイ竹の塚 まなびの森保育園竹ノ塚
11	東伊興 伊興 西伊興 栗原北 西新井第二	佐藤 福寿院 はなぞの 本行寺第二伊興	伊興 西新井 清水 伊興すみれ 伊興大境 i- たんぼぼ保育所竹の塚園 ういず西新井 アスク西新井 くりはら愛育 こころたけのつか
12	鹿浜五色桜 鹿浜第一 北鹿浜 皿沼 鹿浜西 新田	鹿浜 江北白百合 鹿浜愛育	加賀 第三上沼田 新田わかば さくらんぼ保育園新田 足立このみ 太陽 ココロット 新田おひさま 谷在家 新田さくら 新田三丁目なかよし SAKURA保育園谷在家 保育園ヴィラ・ココロット 新田
13	舎人第一 舎人 古千谷 足立入谷	足立つばめ 足立みどり 舎人 とねり伊藤	いりや第一 いりや第二 聖 アスクとねり アスク舎人駅前 てのひらこども園

文教委員会報告資料

令和3年7月2日

件名	放課後子ども教室の令和2年度実施状況と令和3年度の方針について																																																											
所管部課名	学校運営部学校支援課、足立区生涯学習振興公社																																																											
内容	<p>放課後子ども教室の令和2年度実施状況と令和3年度の方針について、次のとおり報告する。</p> <p>1 令和2年度実施状況</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症に対する状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>日付・期間等</th> <th>新型コロナウイルス感染症に対する状況等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>R2.3.2～5.31</td> <td>学校の臨時休業に伴い、放課後子ども教室を休止</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>R2.6.1～</td> <td>学校再開にあわせ、感染症対策を取りながら放課後子ども教室の再開を実行委員会へ依頼 ※ 実施内容や再開日時は実行委員会の判断による ※ 一度も再開しなかった学校:2校(栗原小・高野小)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>R2.6月～適宜</td> <td>感染症対策として、マスク・消毒液・フェイスシールド・非接触型体温計等の物品を支給</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>R2.7月～8月</td> <td>夏休みの短縮に伴い、7・8月で通常授業となった日の開催を依頼</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>R3.1.7～3.21</td> <td>2回目の緊急事態宣言の発出に対し、学校は休業が無かったため、放課後子ども教室の実施を依頼 ※ 実行委員会の判断により最大38校は休止となった</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 全学年(1～6年生)実施校 68校</p> <table border="1"> <caption>全学年実施校数(各年度末)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実施校数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>44</td></tr> <tr><td>H25</td><td>48</td></tr> <tr><td>H26</td><td>51</td></tr> <tr><td>H27</td><td>57</td></tr> <tr><td>H28</td><td>60</td></tr> <tr><td>H29</td><td>63</td></tr> <tr><td>H30</td><td>66</td></tr> <tr><td>R1</td><td>68</td></tr> <tr><td>R2</td><td>68</td></tr> </tbody> </table> <p>ア 一部学年未実施：綾瀬小 イ ただし令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、1年生の受入れを行わなかった学校が16校あり。</p> <p>(3) 週5日実施校 68校</p> <p>ア 一部曜日未実施：綾瀬小 イ ただし令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、曜日による学年分けや一部曜日を休止する学校あり。</p> <p>(4) 登録児童数・延参加児童数・延開催日数</p> <table border="1"> <caption>登録児童数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>登録児童数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H28</td><td>26,905</td></tr> <tr><td>H29</td><td>27,618</td></tr> <tr><td>H30</td><td>28,073</td></tr> <tr><td>R1</td><td>28,287</td></tr> <tr><td>R2</td><td>26,017</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>参加対象児童の登録率</caption> <thead> <tr> <th>登録</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録</td> <td>5,188人</td> <td>16.6%</td> </tr> <tr> <td>未登録</td> <td>26,017人</td> <td>83.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※参加対象児童 31,205人 (一部学年未実施校については実施学年の児童数)</p>	No.	日付・期間等	新型コロナウイルス感染症に対する状況等	1	R2.3.2～5.31	学校の臨時休業に伴い、放課後子ども教室を休止	2	R2.6.1～	学校再開にあわせ、感染症対策を取りながら放課後子ども教室の再開を実行委員会へ依頼 ※ 実施内容や再開日時は実行委員会の判断による ※ 一度も再開しなかった学校:2校(栗原小・高野小)	3	R2.6月～適宜	感染症対策として、マスク・消毒液・フェイスシールド・非接触型体温計等の物品を支給	4	R2.7月～8月	夏休みの短縮に伴い、7・8月で通常授業となった日の開催を依頼	5	R3.1.7～3.21	2回目の緊急事態宣言の発出に対し、学校は休業が無かったため、放課後子ども教室の実施を依頼 ※ 実行委員会の判断により最大38校は休止となった	年度	実施校数	H24	44	H25	48	H26	51	H27	57	H28	60	H29	63	H30	66	R1	68	R2	68	年度	登録児童数	H28	26,905	H29	27,618	H30	28,073	R1	28,287	R2	26,017	登録	人数	割合	登録	5,188人	16.6%	未登録	26,017人	83.4%
	No.	日付・期間等	新型コロナウイルス感染症に対する状況等																																																									
1	R2.3.2～5.31	学校の臨時休業に伴い、放課後子ども教室を休止																																																										
2	R2.6.1～	学校再開にあわせ、感染症対策を取りながら放課後子ども教室の再開を実行委員会へ依頼 ※ 実施内容や再開日時は実行委員会の判断による ※ 一度も再開しなかった学校:2校(栗原小・高野小)																																																										
3	R2.6月～適宜	感染症対策として、マスク・消毒液・フェイスシールド・非接触型体温計等の物品を支給																																																										
4	R2.7月～8月	夏休みの短縮に伴い、7・8月で通常授業となった日の開催を依頼																																																										
5	R3.1.7～3.21	2回目の緊急事態宣言の発出に対し、学校は休業が無かったため、放課後子ども教室の実施を依頼 ※ 実行委員会の判断により最大38校は休止となった																																																										
年度	実施校数																																																											
H24	44																																																											
H25	48																																																											
H26	51																																																											
H27	57																																																											
H28	60																																																											
H29	63																																																											
H30	66																																																											
R1	68																																																											
R2	68																																																											
年度	登録児童数																																																											
H28	26,905																																																											
H29	27,618																																																											
H30	28,073																																																											
R1	28,287																																																											
R2	26,017																																																											
登録	人数	割合																																																										
登録	5,188人	16.6%																																																										
未登録	26,017人	83.4%																																																										

学年別登録率



※ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症による影響が大きく、延参加児童数・延開催日数ともに大幅に減少した。

2 令和3年度の方針について

(1) 事業内容

- ア 感染症拡大防止に配慮した運営の支援
開催にあたっては、十分な感染症対策を取るよう、引き続き実行委員会及び学校と実施内容に関する調整を行っていく。
- イ 夏休み実施に向けた支援
夏季に放課後子ども教室が開催できるよう、実施内容に関する調整を行っていく。
- ウ 全学年実施校の拡大に向けた支援
全学年未実施校は残り1校となったが、新校舎への移転にあわせた全学年実施に向け、実行委員会と協議していく。
- エ 体験機会の充実
感染症対策を取りながら、地域団体等と連携した体験プログラムやスタッフが実施できるプログラムの開発・紹介を行っていく。

(2) 安定運営の支援

- ア 各実行委員会に対する支援の継続
運営用品の準備や現場への巡回、事故の対応や会議日程の調整及び資料作成等
- イ 全ての実行委員会参加による運営委員会、ブロック会議における情報交換や課題の検討
- ウ スタッフ確保のための支援と研修等によるスキルアップ
- エ 利用案内等による保護者、地域への事業趣旨のPR

問題点
今後の方針

引き続き学童保育室との連携を図る。

文 教 委 員 会 報 告 資 料

令和3年7月2日

件 名	施設使用日の変更に係る規定の整備に伴う条例施行規則の一部改正について
所 管 部 課 名	学校運営部 学校施設管理課 こども支援センターげんき 支援管理課 地域のちから推進部 スポーツ振興課
内 容	<p>1 概要 条例施行規則の一部を改正し、施設の使用日の変更に係る規定を設けた。</p> <p>2 改正規則</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 足立区立学校施設使用条例施行規則 ・ 足立区こども支援センターげんき条例施行規則 <p>3 改正内容 新型コロナウイルス感染症を理由とする場合など、使用者がその責任によらない理由又は施設管理者が相当であると認めた理由により施設等を使用できなくなったときに、使用者の申出により使用日を変更することができることとするため、P 13～14「新旧対照表」のとおり改正する必要が生じた。</p> <p>4 施行年月日 令和3年7月1日</p>
問 題 点 今後の方針	

足立区立学校施設使用条例施行規則の一部を改正する規則新旧対照表

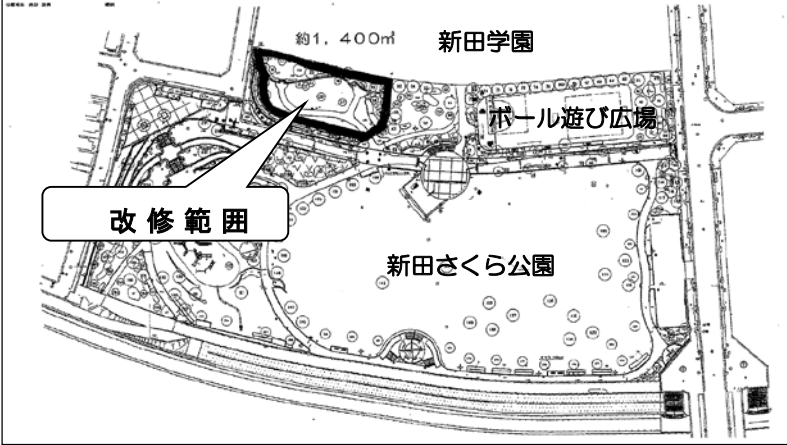
改正前	改正後
<p>○足立区立学校施設使用条例施行規則 平成4年3月10日教育委員会規則第7号</p> <p>第1条～第5条（省略）</p> <p>付 則</p> <p>第1号様式（第2条関係）～第6号様式（第5条関係） （省略）</p>	<p>○足立区立学校施設使用条例施行規則 平成4年3月10日教育委員会規則第7号</p> <p>第1条～第5条（現行のとおり） <u>（使用日の変更）</u></p> <p><u>第6条 委員会は、使用者がその責任によらない理由又は委員会が相当であると認めた理由により使用者が施設を使用できなくなったときは、使用者の申出により使用日を変更することができる。</u> <u>（委任）</u></p> <p><u>第7条 この規則の施行について必要な事項は、教育長が定める。</u></p> <p>付 則</p> <p><u>この規則は、令和3年7月1日から施行する。</u></p> <p>第1号様式（第2条関係）～第6号様式（第5条関係） （現行のとおり）</p>

足立区子ども支援センターげんき条例施行規則の一部を改正する規則新旧対照表

改正前	改正後
<p>○足立区子ども支援センターげんき条例施行規則 平成24年11月9日教育委員会規則第17号</p> <p>第1条～第7条（省略）</p> <p>第8条～第9条（省略）</p> <p>付 則</p> <p>別表（第3条関係）（省略）</p> <p>第1号様式（第4条関係）～第6号様式（第8条関係）（省略）</p>	<p>○足立区子ども支援センターげんき条例施行規則 平成24年11月9日教育委員会規則第17号</p> <p>第1条～第7条（現行のとおり）</p> <p><u>（使用日の変更）</u></p> <p><u>第7条の2 教育委員会は、使用者がその責任によらない理由又は教育委員会が相当であると認めた理由により施設を使用できなくなったときは、使用者の申出により使用日を変更することができる。</u></p> <p>第8条～第9条（現行のとおり）</p> <p><u>付 則</u></p> <p><u>この規則は、令和3年7月1日から施行する。</u></p> <p>別表（第3条関係）（現行のとおり）</p> <p>第1号様式（第4条関係）～第6号様式（第8条関係）（現行のとおり）</p>

文教委員会報告資料

令和3年7月2日

件名	新田学園における活動環境整備の進捗状況について																																																																
所管部課名	学校運営部学校施設管理課 都市建設部みどりと公園推進室 みどり推進課																																																																
内容	<p>新田学園第一校舎に隣接する新田さくら公園のビオトープ部分を学校活動にも利用できるよう改修することで、児童・生徒の活動環境の改善を図る。</p> <p>1 改修工事概要</p> <p>(1) 改修範囲 新田さくら公園のビオトープ部分（約1,400㎡）を改修する。</p>  <p>(2) 改修内容 学校の意見を聞き、ビオトープ部分について学校活動において利用しやすい形態に改修する。改修内容の詳細については、新田学園第一校舎の小学生にアンケートを実施するなどして検討していく。</p> <p>2 スケジュール（予定）</p> <table border="1" data-bbox="512 1675 1390 1861"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="4">令和3年</th> <th colspan="8">令和4年</th> </tr> <tr> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計委託</td> <td></td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アンケート実施</td> <td></td> <td></td> <td>■</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>改修工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> </tr> </tbody> </table>	項目	令和3年				令和4年								9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	設計委託		■	■	■	■								アンケート実施			■										改修工事								■	■	■	■	■
項目	令和3年				令和4年																																																												
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8																																																					
設計委託		■	■	■	■																																																												
アンケート実施			■																																																														
改修工事								■	■	■	■	■																																																					
問題点 今後の方針	引き続き改修工事の詳細等について、学校関係者や地域へ情報提供していく。																																																																

文 教 委 員 会 報 告

令和3年7月2日

件 名	登下校等通知メールの利用率について																																				
所 管 部 課 名	学校運営部学務課																																				
内 容	<p>令和3年5月20日現在の、登下校等通知メールの利用率について報告する。</p> <p>※ 学校別の利用率明細は、「登下校等通知メール利用率比較」のとおり。</p> <p>1 登下校メールの利用率の比較について</p> <p>(1) 新規開始校の利用率</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度 (20校)</th> <th>令和3年度 (20校)</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全学年</td> <td style="text-align: center;">17.1%</td> <td style="text-align: center;">24.4%</td> <td style="text-align: center;">+7.3ポイント</td> </tr> </tbody> </table> <p>設置日程を早めたことで、前年度2月から「無料お試し期間」を設けることができたことから、利用者が増加したと推察される。</p> <p>(2) 前年度から継続(29校)の利用率</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全学年</td> <td style="text-align: center;">18.7%</td> <td style="text-align: center;">24.5%</td> <td style="text-align: center;">+5.8ポイント</td> </tr> <tr> <td>小学1年のみ</td> <td style="text-align: center;">48.0%</td> <td style="text-align: center;">49.1%</td> <td style="text-align: center;">+1.1ポイント</td> </tr> <tr> <td>進級後</td> <td style="text-align: center;">48.0% (小1無料)</td> <td style="text-align: center;">41.0% (小2有料)</td> <td style="text-align: center;">▲7.0ポイント</td> </tr> </tbody> </table> <p>小学1年(無料)から小学2年(有料)はやや減少したが、全学年総計では、5.8ポイントの増となった。</p> <p>(3) 導入校全校の利用率</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度 (29校)</th> <th>令和3年度 (49校)</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全学年</td> <td style="text-align: center;">18.7%</td> <td style="text-align: center;">24.5%</td> <td style="text-align: center;">+5.8ポイント</td> </tr> <tr> <td>小学1年のみ</td> <td style="text-align: center;">48.0%</td> <td style="text-align: center;">49.7%</td> <td style="text-align: center;">+1.7ポイント</td> </tr> </tbody> </table>		令和2年度 (20校)	令和3年度 (20校)	前年比	全学年	17.1%	24.4%	+7.3ポイント		令和2年度	令和3年度	前年比	全学年	18.7%	24.5%	+5.8ポイント	小学1年のみ	48.0%	49.1%	+1.1ポイント	進級後	48.0% (小1無料)	41.0% (小2有料)	▲7.0ポイント		令和2年度 (29校)	令和3年度 (49校)	前年比	全学年	18.7%	24.5%	+5.8ポイント	小学1年のみ	48.0%	49.7%	+1.7ポイント
	令和2年度 (20校)	令和3年度 (20校)	前年比																																		
全学年	17.1%	24.4%	+7.3ポイント																																		
	令和2年度	令和3年度	前年比																																		
全学年	18.7%	24.5%	+5.8ポイント																																		
小学1年のみ	48.0%	49.1%	+1.1ポイント																																		
進級後	48.0% (小1無料)	41.0% (小2有料)	▲7.0ポイント																																		
	令和2年度 (29校)	令和3年度 (49校)	前年比																																		
全学年	18.7%	24.5%	+5.8ポイント																																		
小学1年のみ	48.0%	49.7%	+1.7ポイント																																		

	<p>2 周知方法について</p> <p>(1) 導入校の在校生の保護者に募集案内を配布し、「無料お試し期間」を前倒しして実施した。1年生については、入学説明会で募集案内を配布したうえで、サービス内容の説明を行った。</p> <p>(2) 教育だより4月号の「通学路の安全」の特集に記事を掲載した。</p>
<p>問題点 今後の方針</p>	<p>令和元年度に9校でモデル導入した本サービスは、令和4年度に残りの19校への導入により、小学校全校への導入が完了する見込みである。</p>

登下校等通知メール 利用率比較 (5月20日現在)

令和元年度 2年度 導入校	番号	小学校名	令和3年度利用率(%)						令和2年度利用率(%)							
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
	1	千寿	68.0	45.5	49.0	19.0	19.2	6.1	38.5	58.9	54.5	21.2	17.9	11.5	8.2	32.4
	2	千寿桜	45.7	35.2	40.2	5.2	4.5	4.9	24.1	46.9	50.6	5.5	4.7	3.7	5.4	20.7
	3	千寿常東	44.3	31.3	40.6	15.2	7.8	9.8	23.8	40.2	43.2	15.7	8.2	9.0	3.1	19.7
	4	千寿第八	50.5	43.4	27.7	9.8	3.8	1.1	22.4	47.0	30.2	10.7	3.8	1.1	0.0	14.7
	5	千寿双葉	53.3	24.4	34.6	12.5	11.1	5.6	23.6	35.3	35.5	13.8	9.8	3.4	12.9	18.2
	6	千寿本町	46.8	44.6	51.7	13.3	10.8	8.5	28.7	65.6	55.7	15.3	10.9	7.0	7.6	26.5
	7	鹿浜五色桜	63.8	72.8	52.4	45.7	14.9	4.4	42.9	72.0	55.6	47.3	16.3	4.3	6.7	36.4
	8	新田	44.6	33.0	33.2	13.1	5.7	2.3	20.5	43.7	36.3	13.0	6.1	2.2	3.3	15.8
	9	宮城	41.6	21.8	31.1	8.9	4.7	4.2	18.8	26.4	38.9	8.9	4.8	4.3	2.4	14.2
	10	関原	33.8	43.3	11.8	5.9	13.7	4.2	18.9	50.8	13.0	6.2	17.2	4.4	4.5	15.7
	11	東伊興	43.4	47.8	17.6	15.6	5.6	8.3	23.4	61.8	16.8	14.9	5.6	6.0	8.6	18.7
	12	東加平	40.4	28.2	13.2	15.9	15.1	11.6	20.9	41.9	14.5	17.3	17.0	12.9	11.1	19.0
	13	東栗原	36.2	45.3	16.7	16.4	13.6	9.2	21.8	38.9	15.1	17.1	11.5	9.2	6.3	15.8
	14	桜花	49.2	40.0	14.3	16.1	9.5	6.5	22.9	41.7	14.8	16.7	7.8	8.6	7.6	16.0
	15	扇	36.9	45.8	8.5	15.1	9.6	6.3	21.1	41.2	8.2	16.1	9.6	6.3	7.4	14.8
	16	舎人第一	46.3	35.9	17.6	15.0	14.8	21.7	25.1	55.4	19.8	15.0	14.6	22.0	2.4	21.0
	17	足立入谷	42.9	36.4	17.6	0.0	16.7	5.3	18.3	40.9	16.7	0.0	16.7	5.6	2.7	13.3
	18	花畑西	51.0	50.0	2.1	21.2	3.6	5.0	22.1	50.0	2.0	19.4	5.5	5.0	5.6	14.7
	19	花畑第一	41.1	41.7	20.3	13.4	20.0	9.8	25.5	48.2	21.3	13.4	17.9	10.2	7.1	21.5
	20	梅島第一	51.4	32.5	11.5	9.5	12.5	6.7	19.2	34.1	9.8	7.3	15.0	6.8	0.0	11.8
	21	梅島	70.8	60.8	20.6	17.5	14.7	11.7	31.8	68.0	20.2	18.4	14.9	11.7	6.0	23.1
	22	島根	41.3	44.4	11.7	20.0	7.4	10.1	23.2	54.4	11.5	20.7	9.0	11.0	8.4	19.6
	23	中島根	51.1	27.7	12.3	9.2	7.2	2.6	15.7	34.0	10.4	9.1	5.4	2.6	3.3	9.2
	24	長門	53.8	50.0	26.8	20.4	20.5	7.1	29.0	55.3	28.6	20.4	20.0	7.1	5.4	21.3
	25	古千谷	42.5	43.9	11.0	13.5	12.8	6.9	20.1	43.9	11.0	14.1	11.5	7.1	8.2	14.4
	26	辰沼	42.5	43.2	10.8	5.3	5.7	6.5	19.1	40.5	8.2	5.3	5.7	6.5	2.5	11.4
	27	伊興	41.3	27.5	27.8	21.6	15.3	8.6	23.5	24.7	26.1	20.0	14.5	6.7	13.6	18.0
	28	舎人	73.8	42.2	13.7	4.8	6.2	5.3	23.4	48.8	12.4	7.4	8.4	5.2	4.8	14.1
	29	綾瀬	53.1	47.3	18.1	17.1	12.3	12.5	27.3	51.9	13.0	14.0	12.1	12.6	11.1	19.2
		合計	49.1	41.0	24.6	15.0	10.6	7.3	24.5	48.0	25.7	15.3	10.7	7.4	6.1	18.7

令和3年度 導入校	番号	小学校名	令和3年度利用率(%)						合計
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	
	1	西新井第一	56.0	37.3	25.4	19.7	11.4	15.6	25.8
	2	本木	55.4	20.9	20.0	28.4	16.7	12.0	25.1
	3	寺地	52.9	34.0	25.0	17.2	16.4	6.7	25.5
	4	北鹿浜	52.5	45.8	11.9	22.2	15.2	6.8	24.2
	5	鹿浜西	55.0	21.7	25.0	10.5	15.4	9.4	21.4
	6	皿沼	34.5	25.9	8.8	22.6	17.1	16.4	21.0
	7	梅島第二	51.1	30.0	20.0	14.5	16.0	7.6	21.8
	8	栗原	65.4	35.3	29.8	20.4	16.2	27.4	31.7
	9	栗原北	37.3	12.7	4.8	2.9	7.0	1.2	9.5
	10	栗島	41.2	25.8	15.5	10.9	9.5	16.2	19.6
	11	平野	54.7	27.6	21.3	14.3	18.8	9.3	25.0
	12	弥生	72.9	47.4	38.0	22.0	23.9	18.4	38.3
	13	弘道	45.2	32.3	12.8	18.4	11.8	11.1	20.9
	14	弘道第一	44.1	31.4	21.1	11.9	25.5	12.3	24.3
	15	中川	32.6	14.3	21.1	23.3	9.6	6.7	16.6
	16	大谷田	40.0	29.8	15.0	23.1	7.1	21.6	24.2
	17	澗江第一	50.6	27.0	28.3	18.4	21.1	10.3	25.9
	18	西保木間	48.4	13.6	9.4	7.7	11.4	10.0	17.0
	19	保木間	50.9	45.5	25.5	30.0	23.5	20.4	32.6
	20	竹の塚	61.9	28.0	23.2	20.4	20.0	12.5	26.4
		合計	51.1	29.3	21.3	18.4	15.9	12.4	24.4

令和3年度合計	49.7	37.2	23.5	16.1	12.4	9.1	24.5
---------	------	------	------	------	------	-----	------

文 教 委 員 会 報 告 資 料

令和3年7月2日

件 名	令和2年度おいしい給食推進事業の実施結果及び令和3年度事業計画について
所 管 部 課 名	学校運営部おいしい給食担当課
内 容	<p>令和2年度おいしい給食推進事業の実施結果及び令和3年度の事業計画について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 令和2年度の実施結果（主な取り組み）</p> <p>(1) もりもり給食ウィーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施日：6月（中止） 令和3年1月中の1週間、各学校で実施 ・ 内 容：喫食時間確保、給食時間中の教員等の関わりの充実、食育の実施 <p>(2) 給食メニューコンクール</p> <p>応募数は例年より減少した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テーマ：「パワーアップ！家族や友だちが元気になる給食」 ・ 応募数：小学生応募総数2,406作品【R1年度：4,342作品】 中学生応募総数2,478作品【R1年度：2,638作品】 <p>※ 区長賞ほか、小中学校上位各10作品を表彰（表彰式(10/26(月))は規模を縮小し各5作品を表彰</p> <p>(3) 魚沼産コシヒカリ給食の日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施日：10月27日(火) ・ 内 容：中学生が「魚沼自然教室」でお世話になっている農家の新米を小中学校、区立保育園等の給食に提供 <p>(4) 小松菜給食の日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施日：11月17日(火)、18日(水)、25日(水) ※ 各校いずれかの日で実施 ・ 内 容：JA東京スマイルより無償で提供いただいた小松菜を使用した給食を小中学校で一斉に実施 <p>(5) 野菜の日（衛生部との協働による糖尿病対策）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施日：月1回（各学校ごとに実施） ・ 内 容：旬の野菜を使った給食を提供し、野菜摂取の啓発と食育を実施。また、給食だよりに家庭用レシピを掲載するなど家庭での野菜摂取を啓発 <p>(6) 「ひと口目は野菜から」事業の推進</p> <p>教室掲示用ポスターを全校の各教室内に掲示し、野菜摂取の啓発を行った。</p>

- (7) おいしい給食指導員の巡回指導
ベテラン学校栄養士の経験やスキルを活用し、残菜率が高い学校や経験の浅い栄養士が配置されている学校へ巡回指導、助言を行うとともに、指導改善の検証のため再訪問を行った。
・ 訪問校数 延べ90校 (小学校: 59校 中学校: 31校)
- (8) 「家庭科学習指導案」、「わが家のシェフになろう」の実施
- (9) JICA (独立行政法人国際協力機構) の教材に取り上げ
学校での給食・食育の取り組みの様子が、同機構が作成する各国の保健行政官向け教材映像として取り上げられた。

2 令和3年度の実施計画 (主な予定)

新しい生活様式や学校現場の実情を踏まえながら、学校での取り組みや家庭への働きかけを通じ、児童・生徒の食への意識、意欲を高めていく。

事業名等	日程 (予定)	取り組み
野菜摂取啓発 「ひと口目は野菜から」の取り組み	通年	<ul style="list-style-type: none"> デザインを刷新したポスターを作成し、全クラスで給食時間に掲示 教室のモニターを活用し啓発 校内放送による呼びかけ
野菜の日	通年 (毎月1回)	<ul style="list-style-type: none"> 学校ごとに毎月実施 給食で旬の野菜を味わう 給食だより等で家庭用レシピを提供
おいしい給食 検討会	毎月1回 (2月除く)	<ul style="list-style-type: none"> 学校栄養士のスキルアップ 検討内容 (献立、給食会計、衛生管理、アレルギー対応等に関する指導と意見交換等)
もりもり給食 ウィーク	6月(食育月間) 1月(給食週間)	<ul style="list-style-type: none"> 食べる時間の確保と食指導を実施
給食メニュー コンクール	募集 夏休み期間 ※ 表彰式 10月	<ul style="list-style-type: none"> テーマに合わせた給食メニュー作品を募集
魚沼産コシヒカリ給食の日	10月下旬	<ul style="list-style-type: none"> 中学生が「魚沼自然教室」で収穫した新米を小中学校、区立保育園等の給食で提供

事業名等	日程（予定）	取り組み
おいしい給食アンケート	実施 10月～11月 集計・分析 12月～2月	・ 全校（小学6年生、中学2年生）を対象に実施
小松菜給食の日	11月下旬	・ 足立区産の小松菜（JA東京スマイル農業協同組合より提供）を使用し給食を実施
「家庭科学習指導案」の活用	通年	・ 栄養、献立作成及び調理実習における基礎的な指導案を各校で活用
長期休み期間の課題「わが家のシェフになろう！」	通年	・ 児童、生徒が自宅で調理を行い、食の実践力を養う
食育リーダーを中心とした体制の強化	食育リーダー研修会 (6月、10月、1月)	・ 栄養士以外の教員を食育リーダーとして指定 ・ 学校全体でおいしい給食・食育を推進 ・ 研修会を年3回実施
学校栄養士・食育リーダーのスキルアップ	通年	・ おいしい給食指導員による指導、助言事例を、栄養士、食育リーダーに周知

3 小中学校平均残菜率・総残菜量の推移について

(1) 小中学校別平均残菜率

- ・ 小学校
9.0%（平成20年度当初） → 1.8%（令和2年度）
- ・ 中学校
14.0%（平成20年度当初） → 4.3%（令和2年度）

(2) 小中学校総残菜量

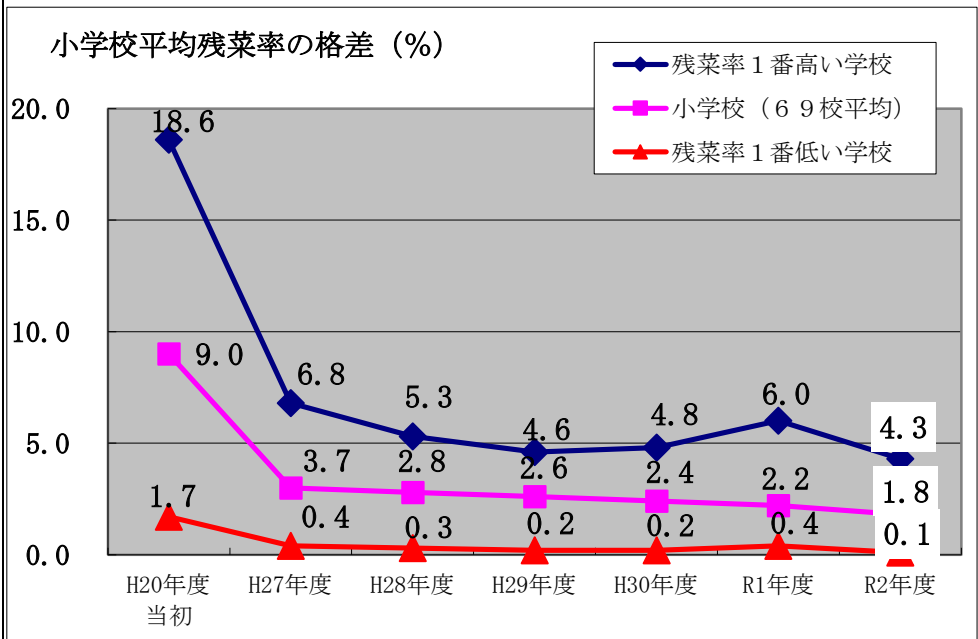
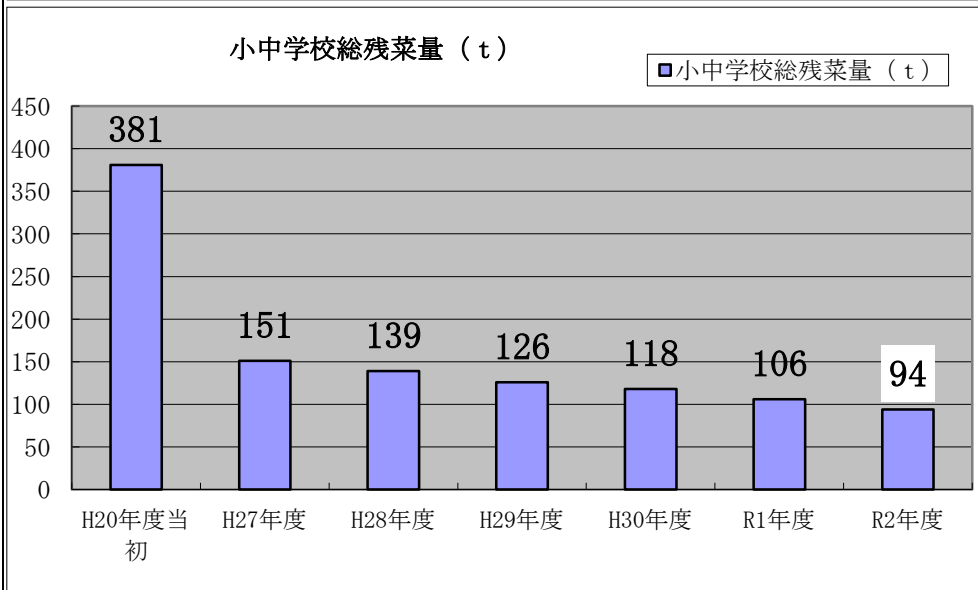
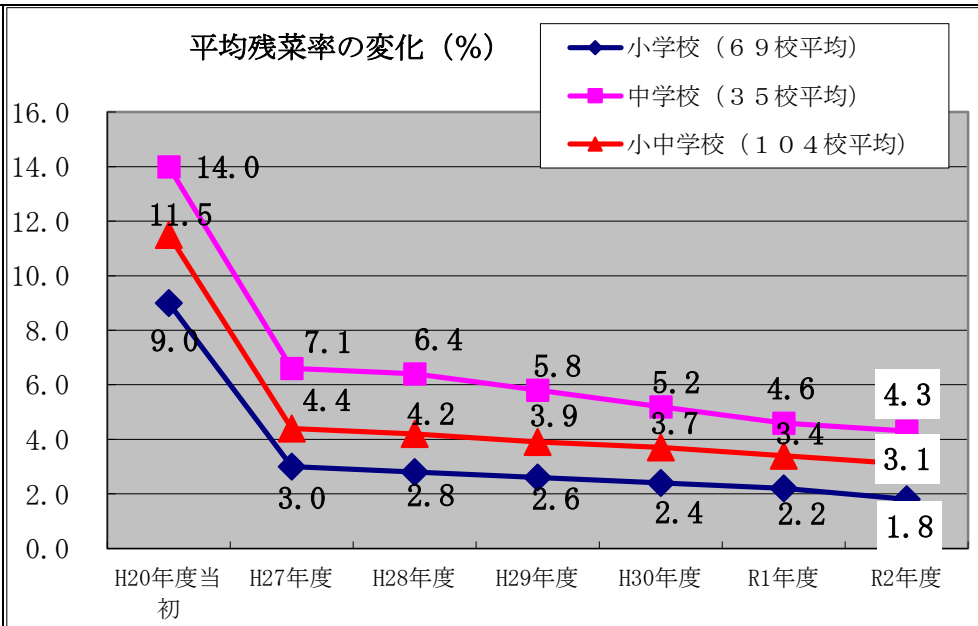
381 t（平成20年度当初） → 94 t（令和2年度）

287 t減少

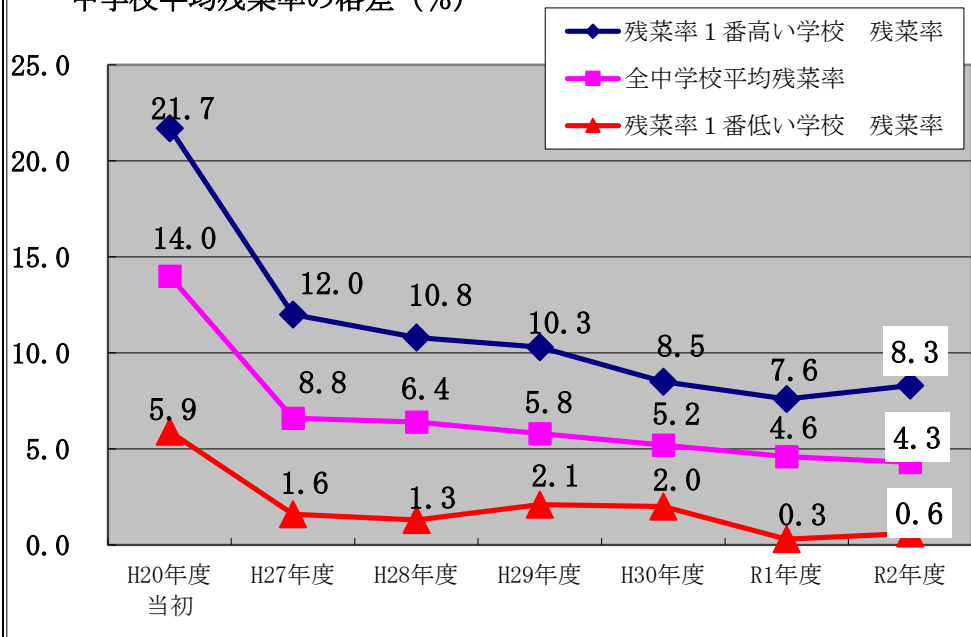
※ 給食費の単価で計算すると、平成20年度当初から令和2年度まで約10,285万円分を無駄にせず食べたことになる。

(3) 評価・課題

おいしい給食指導員の巡回指導や、各学校での取り組みや指導により減少させることができたが、学校間の差異があり、これを解消していくことが今後の課題である。



中学校平均残菜率の格差 (%)



文教委員会報告資料

令和3年7月2日

件名	令和2年度の不登校児童・生徒数について																																																																																																																																																																																									
所管部課名	こども支援センターげんき教育相談課																																																																																																																																																																																									
内 容	<p>1 令和2年度不登校児童・生徒数（累計30日以上欠席者） 【直近5年間の推移】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>265</td> <td>241</td> <td>239</td> <td>234</td> <td>312</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席扱い</td> <td>(17)</td> <td>(26)</td> <td>(14)</td> <td>(19)</td> <td>(20)</td> <td>+78</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>813</td> <td>718</td> <td>697</td> <td>684</td> <td>665</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席扱い</td> <td>(187)</td> <td>(224)</td> <td>(215)</td> <td>(181)</td> <td>(239)</td> <td>-19</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1078</td> <td>959</td> <td>936</td> <td>918</td> <td>977</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席扱い計</td> <td>(204)</td> <td>(250)</td> <td>(229)</td> <td>(200)</td> <td>(259)</td> <td>+59</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 出席扱い…学校の指導要録上は出席としている者の人数（チャレンジ学級等の学校以外の教育の場が該当） 【学年別の前年度数比較】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>小1</th> <th>小2</th> <th>小3</th> <th>小4</th> <th>小5</th> <th>小6</th> <th>小計</th> <th>中1</th> <th>中2</th> <th>中3</th> <th>中計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>元年度</td> <td>10</td> <td>24</td> <td>27</td> <td>37</td> <td>54</td> <td>82</td> <td>234</td> <td>182</td> <td>267</td> <td>235</td> <td>684</td> </tr> <tr> <td>2年度</td> <td>13</td> <td>23</td> <td>46</td> <td>57</td> <td>81</td> <td>92</td> <td>312</td> <td>179</td> <td>226</td> <td>260</td> <td>665</td> </tr> <tr> <td>前年比</td> <td>+3</td> <td>-1</td> <td>+19</td> <td>+20</td> <td>+27</td> <td>+10</td> <td>+78</td> <td>-3</td> <td>-41</td> <td>+25</td> <td>-19</td> </tr> </tbody> </table> <p>●欠席日数別不登校児童・生徒人数</p> <p>●欠席日数別不登校児童・生徒の学年別人数内訳</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>小1</th> <th>小2</th> <th>小3</th> <th>小4</th> <th>小5</th> <th>小6</th> <th>小計</th> <th>中1</th> <th>中2</th> <th>中3</th> <th>中計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30日-59日</td> <td>10</td> <td>13</td> <td>16</td> <td>23</td> <td>26</td> <td>30</td> <td>118</td> <td>36</td> <td>38</td> <td>25</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>60日-89日</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>19</td> <td>60</td> <td>36</td> <td>36</td> <td>27</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>90日-119日</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>15</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>13</td> <td>46</td> <td>34</td> <td>38</td> <td>38</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>120日以上</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>8</td> <td>14</td> <td>33</td> <td>30</td> <td>88</td> <td>73</td> <td>114</td> <td>170</td> <td>357</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>13</td> <td>23</td> <td>46</td> <td>57</td> <td>81</td> <td>92</td> <td>312</td> <td>179</td> <td>226</td> <td>260</td> <td>665</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 学校種別の増減と主な要因</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>増加（人数）</th> <th>減少（人数）</th> <th>変化なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>43校（126人）</td> <td>19校（▲48人）</td> <td>7校</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>15校（92人）</td> <td>19校（▲111人）</td> <td>1校</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>58校（218人）</td> <td>38校（▲159人）</td> <td>8校</td> </tr> </tbody> </table>		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	前年比	小学校	265	241	239	234	312		出席扱い	(17)	(26)	(14)	(19)	(20)	+78	中学校	813	718	697	684	665		出席扱い	(187)	(224)	(215)	(181)	(239)	-19	合計	1078	959	936	918	977		出席扱い計	(204)	(250)	(229)	(200)	(259)	+59		小1	小2	小3	小4	小5	小6	小計	中1	中2	中3	中計	元年度	10	24	27	37	54	82	234	182	267	235	684	2年度	13	23	46	57	81	92	312	179	226	260	665	前年比	+3	-1	+19	+20	+27	+10	+78	-3	-41	+25	-19		小1	小2	小3	小4	小5	小6	小計	中1	中2	中3	中計	30日-59日	10	13	16	23	26	30	118	36	38	25	99	60日-89日	3	4	7	13	14	19	60	36	36	27	99	90日-119日	0	3	15	7	8	13	46	34	38	38	110	120日以上	0	3	8	14	33	30	88	73	114	170	357	合計	13	23	46	57	81	92	312	179	226	260	665		増加（人数）	減少（人数）	変化なし	小学校	43校（126人）	19校（▲48人）	7校	中学校	15校（92人）	19校（▲111人）	1校	合計	58校（218人）	38校（▲159人）	8校
	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	前年比																																																																																																																																																																																				
小学校	265	241	239	234	312																																																																																																																																																																																					
出席扱い	(17)	(26)	(14)	(19)	(20)	+78																																																																																																																																																																																				
中学校	813	718	697	684	665																																																																																																																																																																																					
出席扱い	(187)	(224)	(215)	(181)	(239)	-19																																																																																																																																																																																				
合計	1078	959	936	918	977																																																																																																																																																																																					
出席扱い計	(204)	(250)	(229)	(200)	(259)	+59																																																																																																																																																																																				
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	小計	中1	中2	中3	中計																																																																																																																																																																															
元年度	10	24	27	37	54	82	234	182	267	235	684																																																																																																																																																																															
2年度	13	23	46	57	81	92	312	179	226	260	665																																																																																																																																																																															
前年比	+3	-1	+19	+20	+27	+10	+78	-3	-41	+25	-19																																																																																																																																																																															
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	小計	中1	中2	中3	中計																																																																																																																																																																															
30日-59日	10	13	16	23	26	30	118	36	38	25	99																																																																																																																																																																															
60日-89日	3	4	7	13	14	19	60	36	36	27	99																																																																																																																																																																															
90日-119日	0	3	15	7	8	13	46	34	38	38	110																																																																																																																																																																															
120日以上	0	3	8	14	33	30	88	73	114	170	357																																																																																																																																																																															
合計	13	23	46	57	81	92	312	179	226	260	665																																																																																																																																																																															
	増加（人数）	減少（人数）	変化なし																																																																																																																																																																																							
小学校	43校（126人）	19校（▲48人）	7校																																																																																																																																																																																							
中学校	15校（92人）	19校（▲111人）	1校																																																																																																																																																																																							
合計	58校（218人）	38校（▲159人）	8校																																																																																																																																																																																							

(1) 小学校（令和元年度との比較等）

【増加】■ 10人以上増加（1校）、6人から9人増加（5校）

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のための休校で、生活リズムが崩れた児童が増加した。
- ・ ゲームやスマホの時間が増え、学習意欲がなくなった。
- ・ 理由が明確でない欠席が積み重なった。

【減少】■ 5人減少（2校）、3人から4人減少（7校）

- ・ 欠席した当日に連絡がつかなければ、担任だけでなく、区SCや学習支援員が早期に家庭訪問を行った。
- ・ 校内体制を整え、朝の出欠確認時から丁寧に対応した。

(2) 中学校（令和元年度との比較等）

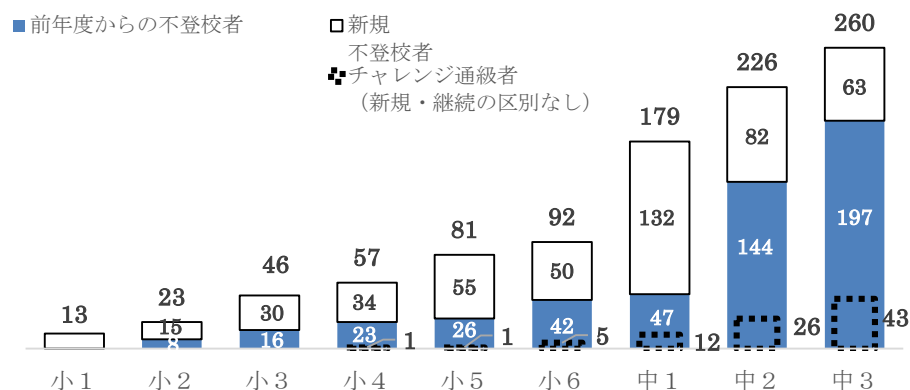
【増加】■ 10人以上増加（3校）、7人増加（2校）

- ・ 家庭訪問しても会えない、電話連絡が繋がらないなど、支援が進まない状態であった。
- ・ クラス替えにより、友人と上手に関係が築けずに不登校状態となった。

【減少】■ 10人以上減少（3校）、7人から8人減少（4校）

- ・ チャレンジ学級への通級が、学校復帰に至った。
- ・ 学校外の関係機関と連携した支援が効果的だった。
- ・ 電話連絡、家庭訪問を丁寧に行い、学校復帰に繋がった。

3 学年別不登校児童・生徒数と今後の支援



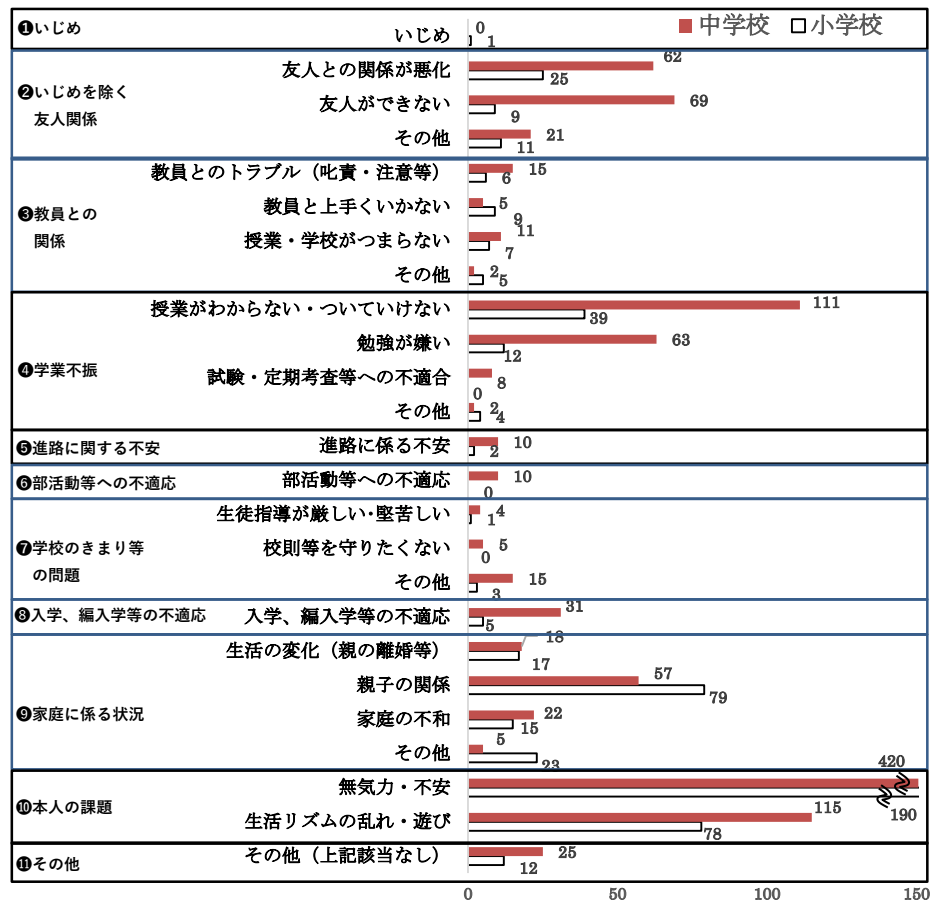
(1) 不登校児童（小学生）への対応

担任中心の対応から組織的支援へ体制を整えるため、校長会等での周知を通じ、朝会や夕会での情報共有体制を強化する。学校復帰が困難な場合は、ICTを活用した支援を促す。

(2) 中学進学時の支援

長期欠席児童・生徒支援シートを中学校にスムーズに引き継ぎ、小学校時に登校渋り等があった生徒の早期把握を行う。また、中学入学後の環境面と発達面での変化に対応するため、生徒への接し方等の研修（教育相談コーディネーター研修等）を充実させる。

4 不登校の要因（※ 複数回答）



5 NPOと連携した居場所を兼ねた学習支援（不登校支援）の状況

●支援人数

	小5	小6	中1	中2	中3	計
中部地区	0	1	9	2	8	20
西部地区	1	3	1	4	5	14
東部地区	0	0	6	9	3	18
合計	1	4	16	15	16	52

●支援結果（中学3年生は進路等）

中学3年生	高校進学	15名	チャレンジスクール、通信制学校等
	家事手伝い	1名	
小学5年生～ 中学2年生	居場所支援等が定着	22名	学校復帰、チャレンジ学級に通級又は居場所支援の継続
	継続通級困難	14名	教育相談、SSW等の個別支援

問題点
今後の方針

- 1 居場所を兼ねた学習支援事業（不登校者対象）を北部地域で開始し、多様な教育機会による支援を拡大する。
- 2 ICTを活用した自宅学習や、学校以外での学習状況を確認できる仕組みを構築し、外出が困難な児童・生徒にも学習の機会を確保する。

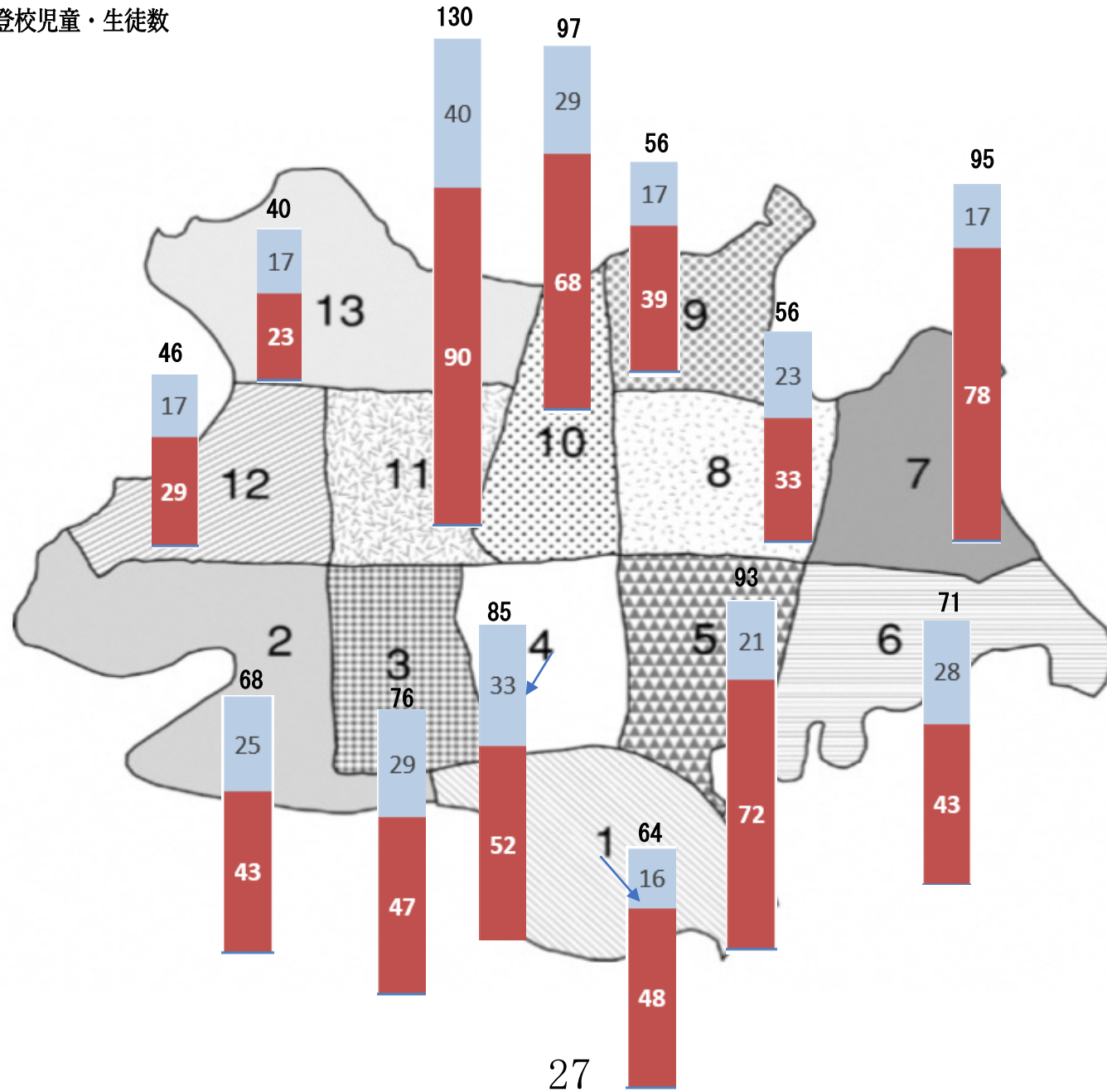
令和2年度 足立区における不登校児童・生徒数

(ブロック別)

※グラフの上段は小学校

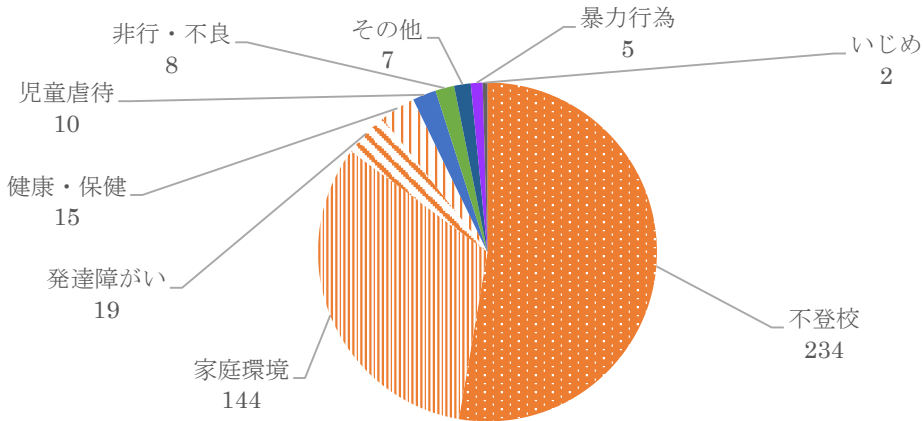
下段は中学校

小 様	312人
中 様	665人
合 計	977人



文教委員会報告資料

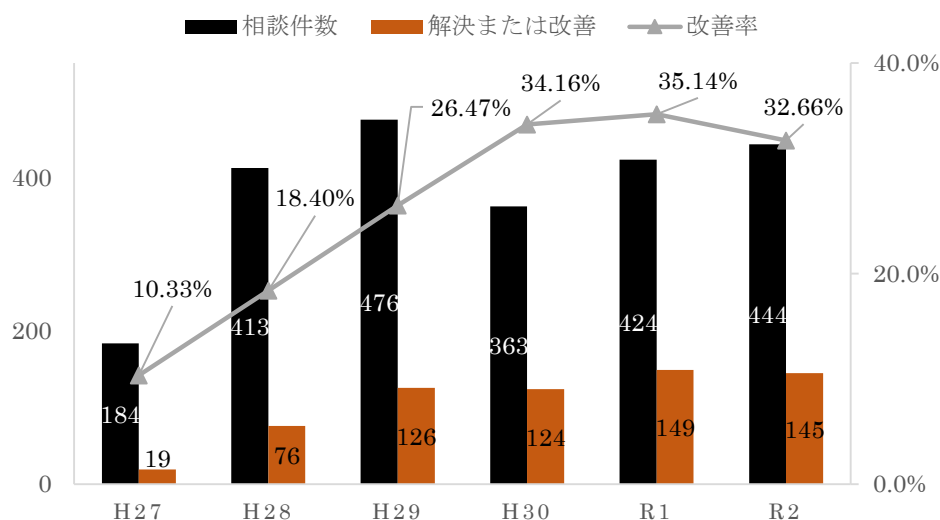
令和3年7月2日

件名	令和2年度のスクールソーシャルワーカー（SSW）活動実績について																																																					
所管部課名	こども支援センターげんき教育相談課																																																					
内容	<p>全小・中学校を巡回するSSWの活動実績について報告する。</p> <p>1 令和2年度のSSWの主な活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 校内会議への参加等を通じた教職員・スクールカウンセラー・関係機関との情報共有及び支援内容の計画 家庭訪問を通じた、児童・生徒、保護者の状況確認や学校以外の居場所への繋ぎなどの直接支援 <p>【支援の対象となった児童・生徒数】</p> <table border="1" data-bbox="475 862 1361 1137"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">令和2年度</th> <th rowspan="2">令和元年度 総件数</th> <th rowspan="2">平成30年度 総件数</th> </tr> <tr> <th>単回 相談</th> <th>継続 支援</th> <th>総件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>37</td> <td>164</td> <td>201</td> <td>202</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>31</td> <td>212</td> <td>243</td> <td>222</td> <td>183</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>68</td> <td>376</td> <td>444</td> <td>424</td> <td>363</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 単回相談：1回の学校へのコンサルテーションで終了したもの</p> <p>【訪問活動の回数】</p> <table border="1" data-bbox="480 1272 1147 1406"> <tbody> <tr> <td>学校</td> <td>2,246</td> </tr> <tr> <td>家庭</td> <td>1,693</td> </tr> <tr> <td>関係機関（病院、福祉事務所等）</td> <td>299</td> </tr> </tbody> </table> <p>【主訴別件数】</p>  <table border="1" data-bbox="432 1503 1358 1921"> <thead> <tr> <th>主訴別</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不登校</td> <td>234</td> </tr> <tr> <td>家庭環境</td> <td>144</td> </tr> <tr> <td>発達障がい</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>健康・保健</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>児童虐待</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>非行・不良</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>暴力行為</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>いじめ</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="432 1921 895 2116" style="width: 48%;"> <p>※ 家庭環境の例</p> <ul style="list-style-type: none"> 母の精神疾患に伴う家庭の養育力の欠如 受けられる支援を知らないことによる家庭環境の悪化 </div> <div data-bbox="895 1921 1425 2116" style="width: 48%;"> <p>※ 不登校の例</p> <ul style="list-style-type: none"> インターネットやゲーム依存による生活リズムの乱れ、昼夜逆転 不安やストレスが高い状態が続いたことによる登校する意欲の低下 </div> </div>		令和2年度			令和元年度 総件数	平成30年度 総件数	単回 相談	継続 支援	総件数	小学校	37	164	201	202	180	中学校	31	212	243	222	183	合計	68	376	444	424	363	学校	2,246	家庭	1,693	関係機関（病院、福祉事務所等）	299	主訴別	件数	不登校	234	家庭環境	144	発達障がい	19	健康・保健	15	児童虐待	10	非行・不良	8	その他	7	暴力行為	5	いじめ	2
	令和2年度			令和元年度 総件数	平成30年度 総件数																																																	
	単回 相談	継続 支援	総件数																																																			
小学校	37	164	201	202	180																																																	
中学校	31	212	243	222	183																																																	
合計	68	376	444	424	363																																																	
学校	2,246																																																					
家庭	1,693																																																					
関係機関（病院、福祉事務所等）	299																																																					
主訴別	件数																																																					
不登校	234																																																					
家庭環境	144																																																					
発達障がい	19																																																					
健康・保健	15																																																					
児童虐待	10																																																					
非行・不良	8																																																					
その他	7																																																					
暴力行為	5																																																					
いじめ	2																																																					

2 活動による成果

- ・ 児童・生徒の関連機関や福祉事務所と連携を図った(38件)。
(例) 福祉事務所ケースワーカーと連絡を取りにくい家庭への同行訪問などを通じて、医療・福祉等の外部支援へつなげた。
- ・ 保健所や医療機関等へつないだ(15件)。
(例) ゲーム依存で昼夜逆転した児童・生徒を医療機関につなげた。保健師の支援も開始され、通院や訪問看護の利用により、状況が改善し、登校日数が増えた。
- ・ 配食サービスへつないだ(57件)。
(例) コロナ禍における学校の臨時休業により、食の確保が困難となった児童・生徒を配食サービスにつないだ。

【相談件数と改善又は解決した件数】



- ※ 解決とは、学校と協議した結果、主たる要因が解消された場合
- ※ 改善とは、複数の要因のうち、いくつかの要因が解決された場合や、主たる要因の解消に向けて進展した場合

3 令和3年度の実施内容

- ・ 東京都ユースソーシャルワーカーとの連絡会の定期開催などにより、連携を一層強化し、高校進学時の円滑な支援の継続や、適切な進路選択のための支援体制を構築する。
- ・ 研修を充実させ、スクールソーシャルワークの幅広い知識と支援の視点の習得を図る。
- ・ 区内に必要な支援を行き届かせるため、中学校を拠点校として、すべての小学校を月に1回を目安に巡回する。

問題点
今後の方針

学校のスクールソーシャルワークに対する理解を深めることと、SSWが各関係機関との協力体制を強化していくことにより、児童・生徒、保護者への支援を充実させる。